

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	美保(5)格納庫等新設建築その他工事(仮称)	階数	地上1F
建設地	鳥取県境港市小篠津町2258	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年01月 予定	評価の実施日	2023年02月21日
敷地面積	11,280 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 梓設計 松浦 衣利子
建築面積	6,571 m <sup>2</sup>	確認日	2023年03月01日
延床面積	6,411 m <sup>2</sup>	確認者	中国四国防衛局長 今給黎 学



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.1

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合	主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	特になし。
Q1 室内環境	対象外。	Q3 室外環境 (敷地内) 鳥取県認定グリーン商品を利用している。
LR1 エネルギー	BPI <sub>m</sub> =0.61。そして、BEI <sub>m</sub> =0.68。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が81%。そして、光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。
Q2 サービス性能	給水VLP(B)、PLP(B)、排水SGP(C)、給湯SUS(C)。そして、階高:3.9m以上。また、[壁長さ比率]<0.1。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。そして、LGS使用している。また、ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される